

3年生の取り組み

活動手順（フェーズ）・ローマ字 国語の学習計画

問題 筆者が、食品をどうして「のじゅん番」で説明したのか考えよう。

題名 「すがたをかえる大豆」

筆者がこのじゅんばんにしたりゅうで、まず大豆をその形のまじりゆりてきたら、まず初めに紹介したかった。

次に少し工夫をして、作りたいすのりようりを、なかにしようかいした。豆腐は、だいたいのひょうが、だいすからできていることは、知っているから。

- ☆活用場面☆
国語《すがたをかえる大豆》
- ☆活用ポイント☆
 - ①手順(フェーズ)を示し、1つの活動を終えるたびにカードの色を変えて表す。
 - ②説明文のイラストや文章から文章構成を考える。

- ☆活用場面☆
国語《ローマ字の学習》
- ☆活用ポイント☆
 - ①あ行からわ行まで、学習計画にまとめることができる。
 - ②ローマ字の学習と同時に、タイピングの練習も可能。
イラスト・ひらがな・大文字・小文字の確認から、タイピングにつなげる。

めあて た行をキーボードで打とう。

4 た行 ta ti tu te to

たけ くち つき てつ とけい
TAKE KUTI TU TEI TOKEI

終わった人は、ほかにも練習しよう。

3年 学習計画 (例)

学習計画内に手順（フェーズ）を示し、1時間の学習の流れも確認

学習計画 15h	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう。					第3次
	第1次	第2次	第2次	第2次	第2次	
今日の学習の流れ↓(45分)	書き手になることを意識して、单元全体の学習の見直しをもとう。	文章全体の組み立てについて考えよう。	はじめをくわしく読んで、文章全体の「中心」となる言葉をたしかめよう。	中を読んで、筆者のせつめいの工夫を考えよう。(体略)	せつめいの工夫について考えよう。	「すがたをかえる大豆」をふりかえり、次時の学習を見直そう。
	フェーズ① 題名から説明文の内容を予想する。	形式段落到筆句をつけて「はじめ・中・終わり」の段わりをふりかえり、中の段落が、どこからどこまでかを予想する。	大豆の「手のくわえ方」に関係する言葉の意味を調べ、今までの学習から、「問い」についてふりかえり。	おいしく食べる工夫の書かれ方、分りやすい点を見つけよう。	大豆についてもっと知りたくなったことをあげよう。	筆者のせつめいの工夫について、分りやすかったものをふりかえり。
	フェーズ② CDを聞いておまかな内容をとらえる。	中と最後の段落が、どこからどこまでかを予想する。	「はじめ」を読んで、「問い」を考える。	「ふかめよう」を読んで、説明の工夫をまとめる。	他の食品について知りたくなったことを書き出そう。	本を使った調べ方のポイントをつかもう。
	フェーズ③ 説明文の分りやすかったところを交流する。	はじめと終わりの内容を確認する。	「はじめる」の内容をふまえて、「問い」の内容を伝えたいことを考える。	筆者が、「中」の食品のじゅん番をなぜこれにしたのか考えよう。	自分が知りたくなった食品についての本を読んで感想をもつ。	引用のきまりをまとめる。
フェーズ④ 単元めあてを確認し、れいの書かれ方について考える。	中の「おいしく食べる工夫」が書かれているところに線を引き、ふりかえり。	「はじめる」の内容をふまえて、「問い」の内容を伝えたいことを考える。	「はじめる」「中」「終わり」に分けて工夫をふりかえり。	「はじめる」「中」「終わり」に分けて工夫をふりかえり。	次時に向けて、食品について書かれた本に目を通す。	
	ふりかえり ①時間を意識してできた ②自分で考えることができた ③「書き手」の視点に変わった。	ふりかえり ①時間を意識してできた ②自分で考えることができた ③「書き手」の視点に変わった。	ふりかえり ①時間を意識してできた ②自分で考えることができた ③「書き手」の視点に変わった。	ふりかえり ①時間を意識してできた ②自分で考えることができた ③「書き手」の視点に変わった。	ふりかえり ①時間を意識してできた ②自分で考えることができた ③「書き手」の視点に変わった。	食べ物のひみつをせつめいする文章を書く。